

回 覧

岡津第三町内会会員各位

【首都圏で発生する強盗事件に対する注意喚起について】

首都圏において一般家庭を狙った強盗事件が多発しています。犯人の手口は、複数人で住宅に押し入り、家人を緊縛または怪我を負わせ金品を奪い取るという卑劣なものです。泉警察から、こうした犯罪に対し、以下のような注意喚起が来ましたのでお知らせ致します。

(防犯ポイント)

- * 自宅の玄関や窓の鍵は必ず施錠する。 * 雨戸を閉める。 * 夜間でも電気を点けておく。
- * 来訪者はドアスコープ等で確認してから対応する。 * 防犯砂利を敷く。
- * 防犯ブザーや携帯電話を枕元に置く。 * 自宅に多額の現金を保管しない。
- * 電話で「金品の保管状況」や「個人情報」を教えない。

<警察からのお願い>

- * 防犯性能の高い建物部品の導入。 * 窓に防犯フィルムや補助錠の設置。
- * 外部から敷地内が見えるように植栽の剪定。 * 子世代、孫世代から親・祖父母への注意喚起。
- * <不審な電話は詐欺だけじゃない！>「家にお金いくら置いてある？」「いつ家にいる？」などの質問には答えない。電話を切って、すぐ 110 番。

(泉警察署防犯コメント)

深夜の住宅街で不審な車両(複数人で乗車、ゆっくり走行等)を目撃した場合は、110 番通報するか、泉警察署への情報提供をお願いします。

警察署 生活安全課防犯少年係 045-805-0110(内線 264)

【強盗事件と点検商法に係る防犯上のポイント】

- ▶ 首都圏で相次いで起きている強盗事件と関連して、被疑者らが、屋根や水道等点検と称して住宅を訪問するなどし、犯行の下見をしていた可能性が指摘されています。
- ▶ 点検をきっかけに高額な契約を迫るトラブルもありますが、犯罪目的で利用するために個人情報等を聞き出す可能性もあります。点検商法には、これまで以上に、注意しましょう。

(防犯のポイント)

- * 突然訪問してきた業者には、インターフォン越しに対応するなど、対面での対応はせず、また、安易に自宅に上げて点検をさせない。
- * 対応するときは、名刺をもらうなど身分確認を行う。
- * 点検時に修理を勧められても、その場では契約せず、家族や友人等に相談する。
- * 金品の保管状況や個人情報等を安易に教えない。
- * 断っても立ち去らない場合や不審な点があれば、警察に通報する。

日頃から、ご近所とのコミュニケーションをしっかりとっておく事も、防犯上、大切なポイントだと思います。

岡津第三町内会 防犯部